

今、何が問題なの？

今回は、大町市、白馬村、小谷村から出される可燃ごみなどの一般廃棄物がどこで処理されているのかを紹介しながら、その課題と対策を探ります。

また、裏面では6月5日に金沢市で行った先進施設の見学会の様子も報告します。



学ぼう！

現状と課題、どうする？

現在の可燃ごみ等の処理状況

大町市



大町市環境プラント

昭和63年4月
(25年目)

約1億766万円

白馬村



白馬山麓清掃センター

昭和60年4月
(28年目)

約8,794万円

小谷村

〇〇〇 供用開始 〇〇〇
〇〇〇 補修費用/年 〇〇〇
(H21~H23年度平均)

○ 進む老朽化、増大する維持管理費用！

現在の施設はいずれも稼動から25年以上が経過しており、毎年多くの補修費用が必要となっています。

どうする？

一刻も早く新たな施設を建設したいと考えています。

このまま老朽化した設備を補修しながら使い続けるには限度があり、新しい施設を建設するほうが経済的です。(建設に伴う費用だけでなく、人件費などの維持管理費も低く抑えることができます。)

また、1か所に集約することで、ごみの均質化が図られ燃焼が安定するなど、環境対策の面でも有利になります。

○ 総論賛成(施設は必要だけど)、各論反対(地元にはいない)！

廃棄物処理施設に対しては、いまだに“迷惑施設”といった住民意識が残っていることが指摘されています。

どうする？

地元との対話を軸に新たな候補地選定を進めます。

受け入れについて自治会や区等に了承いただいたうえで、地域の課題や振興策と併せて候補地の選定を進めます。

これまで、施設についてのご理解を深めていただくよう、講演会や見学会などを開催してきましたが、今後も情報提供に努めてまいります。

皆さまにも、ご意見やアイデアの提供など積極的な参加をお願いします。

行ってきました！

先進施設の見学会報告

(6月5日 金沢市 西部環境エネルギーセンター)

最新の一般廃棄物処理施設を見学しながら、理解を深めていただくため、金沢市の施設の見学会を行いました。

67人の皆さんが参加され、職員の方から説明を受けたあと、施設を熱心に見学しました。

(施設の概要)

- ・施設の稼働 平成24年3月
- ・焼却方式 ストーカ式
- ・処理能力 340t/日 (170t/日×2炉)
(うち40tは乾燥汚泥を混焼)
- ・余熱利用 近隣施設に熱供給、発電 (近隣施設に供給、売電)

※ 金沢市では、東部と西部の2か所の施設で市内から発生する可燃ごみ等処理しています。



3班に分かれて説明を受けました。



周囲は市街地となっています。

【参加された皆さんの声】

- ・金沢市は46万人。大町市はこれから頑張っても3万人。財政的にも大差があるので、早く白馬・小谷と一緒に効率的な施設を作って欲しい。(女性)
- ・新しい施設も、この施設のように安全、きれいに造ってほしい。(男性)
- ・周囲に人家や小学校などの公共施設があっても安全だということが分かった。(女性)

※ 広域連合のホームページでは、今回の見学会に加え、2月に飯山市にある岳北広域行政組合の「エコパーク寒川」で行った見学会の様子についても紹介しています。是非ご覧ください。

住民の皆さんの質問にお答えします。



計画中の新しい一般廃棄物の焼却施設について、疑問に思っていることや、必要な情報などありましたら、遠慮なくお尋ねください。

いただいたご質問や回答について、広く皆さんにお伝えすべき内容については、今後、「ごみレポ」でも紹介してまいります。

お問い合わせ先

○ 北アルプス広域連合ごみ処理広域化推進係 (担当：西山、中島)

電話：0261-26-3545 FAX：0261-22-7011

E-mail：kitaalps@kita-alps.omachinagano.jp

○ 大町市 生活環境課 電話：0261-22-0420

○ 白馬村 環境課 電話：0261-72-5000

○ 小谷村 住民福祉課 電話：0261-82-2001

